

総合防除の普及推進を図るための令和6年度全国キャラバン
東北地区 開催要領

1 開催趣旨

近年の温暖化等による気候変動を背景として、病害虫の発生地域の拡大や発生量の増加による、病害虫のまん延リスクの高まりや薬剤抵抗性を獲得した病害虫の顕在化の対応が急務となっています。

また、「みどりの食料システム戦略」に応じた食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を確保していくためには、化学農薬だけに依存しない様々な手法を組み合わせた「総合防除（IPM）」の取組拡大が重要です。

このため、東北地域における「総合防除の普及推進を図るための令和6年度全国キャラバン東北地区」を開催し、産地での取組事例、県の普及方針、専門家による情報提供や意見交換等を行うこととします。

2 開催日時

令和6年11月5日（火） 13:00～17:00

3 開催場所

仙台合同庁舎 A棟7階会議室 （宮城県仙台市青葉区本町3-3-1）

4 主催

農林水産省 東北農政局

5 参集範囲

管内各県及び市町村職員（植物防疫・普及指導担当部局、試験研究機関等）
農業者団体及び民間事業者（農業協同組合、農業共済組合、農薬メーカー等）
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、大学等
農業者、総合防除に関心がある方
農林水産省職員等

6 開催方法

現地開催

7 議 題

第一部：産地で普及が進められる取組や今後期待される技術について

（1）総合防除の推進に向けて

農林水産省 消費・安全局植物防疫課

(2) グリーンな栽培体系への取組

「ながいもにおけるクロロピクリン剤の代替技術について」

JA 十和田おいらせ野菜振興会 ながいも専門部会 寺澤 和夫氏

(3) 「JA グループにおける環境負荷低減の取組」

JA 全農 東日本営農資材事業所 前田 勝行氏

(4) 総合防除の普及に資する研究成果、技術について

① 「オオムギ間作・開花植物による露地野菜の害虫抑制技術」

農研機構 植物防疫研究部門 下田 武志氏

② 「宮城県の夏秋トマト栽培における改良型赤色防虫ネット・天敵タバコカスミカメ・天敵温存植物バーベナを組み合わせた体系防除の有効性」

宮城県 農業・園芸総合研究所 駒形 泰之氏

第二部：総合防除の普及拡大に向けた課題や対応策等に係る意見交換

(1) 青森県における総合防除の普及に向けた方針や取組について

青森県 農林水産部農産園芸課 近藤 伸子氏

(2) 総合防除の推進に向けた課題や取組

① 「りんごにおける薬剤耐性リスク管理と IPM の可能性」

殺菌剤耐性菌研究会 平山 和幸氏

② 「欧州における生物農薬、フェロモン製剤等の状況について」

CBC 株式会社 ライフサイエンス Div アグリサイエンス Gr

泉 アリアンナ氏

(3) IPM 実践指針の改定に向けて／総合討論

農林水産省 消費・安全局植物防疫課

8 参加申込方法

インターネットにて、氏名（ふりがな）、連絡先（電話番号、メールアドレス）、職業・勤務先・所属団体名等を御記入の上、お申込みください。

申込み先

https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/syouan/syohuseikatsu/nousan_bouzo1.html

また、電話による申込みは、以下の問い合わせ先まで御連絡ください。

9 問い合わせ先

東北農政局消費・安全部農産安全管理課 電話：022-263-1111（代）

課長補佐 遠藤（内線 4531）

植物防疫係長 南田（内線 4556）